

坂ノ市地域まちづくりビジョンフォローアップ会議通信

発行：令和5年3月1日 坂ノ市地域まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

第4号



この通信は、地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の目的

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、それぞれの地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取り組みをまとめた「地域まちづくりビジョン」を策定し、平成30年7月に市長に提言されました。

「地域まちづくりビジョンフォローアップ会議」は、地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政と一緒にまちづくりを進めるため「地域まちづくりビジョン」に掲げる事業について、「行政に望むこと」「地域でできること」「私たちができること」のそれぞれのテーマにおいて取組状況を確認し、今後の進め方や課題などについて情報共有、意見交換を行うものです。

令和4年度坂ノ市地域まちづくりビジョンフォローアップ会議

◆日時 令和4年11月18日(金) 14時～

◆場所 坂ノ市市民センター大会議室

≪議事≫

(1)会議の公開について

(2)地域まちづくりビジョンについて

(3)地域まちづくりビジョンフォローアップ会議について

(4)地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況について

(5)今後の予定について



住んでよし 来てもよし 自慢だらけの坂ノ市 ～坂ノ市の将来像～

会議では、事務局から坂ノ市地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況を報告し、これをもとに意見交換を行いました。本通信では、事業の取組状況や、意見交換等の中から主なものを抜粋して掲載しています。

【提言1】人がつながるコミュニティの創造

事業名：公園(広場)をつくりたい

廃止したため池用の土地(2100坪)があるので、スポーツができる広場として活用したい。

【取組状況】

地域 広場について対象となる用地はあるものの、使用目的が定まっていない。

行政 自治会内に公園がない場合は、「大分市子ども広場設置補助金交付制度」の活用が可能。

主な意見 災害時避難所としての活用等、公園の使用目的等について、小佐井校区でまちづくりビジョン会議を設置して協議していきたい。



ため池用の土地の様子

事業名：3世代が交流できる事業

丹生地区では地域づくりの行事が盛んだが、高齢者が中心で進めているので、若者や子どもにもっと地域に積極的にかかわってほしい。

【取組状況】

地域 ・健康ウォーク、ふれあいフェスタなどを実施している。

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となる

行事も多いが、一部の行事は規模縮小で再開している。



丹生校区ふるさと祭り

行政 地域づくり交付金の交付申請に対する支援やまちづくり協議会の運営サポートを行っている。



小佐井校区いもほりウォーク

①坂ノ市校区では、「いのちの講演会」や千羽鶴を折って平和を願う活動などを行った。

②小佐井校区では、「尾田川はたの里づくり事業」や「いもほりウォーク」などを実施した。

③丹生校区では、「ふるさと祭り」や「史跡巡り健康ウォーキング」、「丹生子供神楽」、「ふるさとカレンダー作成」などを実施した。



事業名：住民と市議会、行政とのコミュニケーションの場づくり

・住民の要望が行政にうまく伝わっていない。

・住民と市議会・行政が定期的にコミュニケーションをとる場を作り、予算面などを含めお互い納得できるよう話し合いを行う。

【取組状況】

地域 ・会議や委員会等には、組織や団体の代表が参画している。

・住民に対して、回覧や掲示板等により議会主催の市民意見交換会等の参加を促している。

行政 ・地域まちづくりビジョンフォローアップ会議を開催する中で、ビジョンに掲げる将来像の実現に向け、地域課題の整理、情報共有を行っている。

・4月に、高校生のために家庭・学校以外の居場所を提供するb-room(ぶるーむ)の代表と大分東高等学校の生徒20名が、若者のまちづくりへの参画や活躍について市議会議員と意見交換会を行った。

・10月に、「魅力あふれる私たちの地域」をテーマに、自治委員と市長が意見交換を行った。



市議会議員と高校生等の意見交換会

事業名：子どもの生きる力を養う事業

・地域の公民館などで泊まり込み合宿を行い、集団での生活や学習の機会をつくる。

・しつけ(他人から)の場が必要である。



【取組状況】

地域 ・丹生小学校では例年、PTAが主催となり、夏休み期間中に6年生とその保護者が校内キャンプを実施している。(令和4年度は、新型コロナウイルスのため中止)

・丹生小学校児童を対象に「丹生校区学びの広場」を年間11回開催し、親子で田植えや稲刈りなどの農業体験活動や物づくり体験活動、自然体験活動などを行った。

行政 13地区公民館が行っている「体験・楽習・すこやか講座」で通学合宿をしている地区があり、各地区公民館の取組について情報共有を行っている。



丹生校区学びの広場での農業体験

事業名：子どもへの福祉事業

夜一人で家にいないといけないうち子どもなどを預けられる場所や、子ども食堂のようなものが必要。



【取組状況】

地域 「地域デザインの学校 in 坂ノ市・佐賀関」を受講したメンバーが中心となり、未来応援コミュニティ「b-room」が、高校生に放課後の立ち寄りスペースやボランティアなどの体験活動を提供したり、「もしも日よけがあったなら・・・」という名のグループが、公園にテント等で日よけをつくることにより、子どもたちが遊びやすい環境やパパママの休憩場所をつくるなどの活動を行っている。

行政 子どもや親、学生等の多世代交流を目的とする活動に対して補助金を交付している。



b-roomのボランティア活動

【提言2】安全・安心なまちづくり

事業名：子どもや高齢者の安全を確保する道路や交通網の整備促進 (通学路の整備・改善、自転車道整備事業、公共交通網の充実)

- ・小佐井小学校周辺の道路は朝夕交通量が多く歩道も狭いため、危険。
- ・ふれあい交通等の交通網の充実。

【取組状況】

地域 ・交通指導員やPTA等が通学時の見守り活動を行っている。
・地域の中で、県道坂ノ市中戸次線の拡幅と通学路の安全確保について話し合いをしている。

行政 ・県道坂ノ市中戸次線の歩道整備は、市と大分県が協議し、大分県と合同で事業説明を行っている。
・子どもの安全見守りボランティア等の協力を頂き、登下校の安全確保に努めている。



小佐井小学校周辺の道路

【提言3】地域資源の活用

事業名：坂ノ市の歴史資源を活かすネットワークづくりとイベントの実施

各校区の歴史を調査し、意見交換や地域の史跡を歩いて回るイベントを実施する。

【取組状況】

地域 ・地域の歴史愛好家等が集まって「坂ノ市地区郷土史愛好会」や「丹生郷土史愛好会」を結成し、活動している。

・丹生校区では、健康ウォークと地域の史跡巡りを合わせた「史跡巡り健康ウォーキング」を実施するほか、「丹生村史」続編の編集と歴史散策策集作成に向け活動を行っている。

・県下最大の前方後円墳である亀塚古墳を舞台に開催される「海部のまつり」でボランティアとして協力している。

行政 ・坂ノ市公民館で「坂ノ市歴史講座」を開催し坂ノ市の歴史継承に努めている。
・子どもの安全見守りボランティア等の協力を頂き、登下校の安全確保に努めている。



第27回 海部のまつり



史跡巡り健康ウォーキング

坂ノ市地域まちづくりビジョン概要

【提言1】人がつながるコミュニティの創造

坂ノ市地域は、住民同士の関係が密であり、萬弘寺の市など様々な行事を通じた住民交流、子どもや高齢者の見守り体制が構築されている。

このような体制を維持していくためには、次世代を担う若者を交えた地域交流を促進し、コミュニティを活性化させる取り組みが必要である。

【提言2】安全・安心なまちづくり

地震や津波、古いため池など、様々な自然の脅威に対応するための基盤整備はもとより、未来を担う子どもたちや高齢者の安全を確保するため、道路整備や施設整備の促進、支援を望む。

【提言3】地域資源の活用

坂ノ市地域は豊かな自然に囲まれ、丹生温泉や佐野植物公園、亀塚古墳などの観光資源や、市外の方々も楽しめる地域伝統行事などが多くある。

これら地域資源をより有効に活用するための取組が必要である。

提言に基づき取り組んでいる12事業

1. 3世代が交流できる事業
2. 公園（広場）をつくりたい
3. 住民と市議会、行政とのコミュニケーションの場づくり
4. 萬弘寺広場で朝市等の開催
5. 子どもの生きる力を養う事業
6. 子どもへの福祉事業
7. 子どもや高齢者の安全を確保する道路や交通網の整備促進
8. 小佐井小学校及び周辺整備事業
9. 坂ノ市の歴史資源を活かすネットワークづくりとイベントの実施
10. 坂ノ市の個店を住民に知ってもらうマップを作り、地元消費の喚起につなげる
11. 地域の拠り所となる丹生温泉の活用促進
12. 地域交流のできる総合的な施設の充実

※「地域まちづくりビジョン」やフォローアップ会議の内容等については、大分市ホームページに掲載しております。

<https://www.city.oita.jp/o010/kurashi/volunteer/1513231907927.html>

